

<ケーススタディ 酒田南高等学校の場合>

山形県にある酒田南高等学校は今回初めてマレーシア修学旅行を実施しました。個性ある街の様子に生徒たちは興味津々だったようです。担当の金山洋光先生には現地を視察する重要性についてもお話し頂きました。

【実施日程】11月14日～19日

【参加人数】204名

Q なぜマレーシアを選んだのですか？

A 英語圏であること、治安が良いこと、また多民族が共存している国を見て知ることがこれからの時代を生きる子ども（生徒）たちに影響を与えたいと思いました。実際に現地を見学した時には、とにかく驚きでした。街を少し移動するだけで、マレー系やインド系それぞれの文化が密集している場所があり、モスクに行けばイスラム教の人々がいますし、同じ国なのに色んな宗教・文化の人たちが住んでいるということが目に見えてわかり刺激的でした。

Q 主な体験内容をおしえてください

A はんでのテーマ別行動は、熱帯雨林の散策体験、動物園で動物観察、水族館で海洋生物観察、ゴム園やピューター工場での産業体験の4コースの中から希望するものに参加してもらいました。またそれらの体験学習に加えてどのコースも国立モスクやバトゥー洞窟を見学しましたが、生徒たちにはどれも好評でした。

カンポン美人っつではマレー系の家族と数時間共に過ごしました。ほとんどの生徒は海外経験がありませんので普段接しない人たちと触れ合えた事は良い経験になりましたし、各家庭には子供が沢山いて、子供たちと一緒に遊べたことも楽しかったと言います。ある程度の英語は指導していきましたが、家庭で交流で使われたのはほとんどマレー語だったとのことで、何を言ってるのかわからないことが沢山あり大体がアバウトな感じだったようでした。挨拶程度のマレー語であればしおりにも載せていたのですが、それだけでは全然足りませんでしたね。皆明るく行動的でノリの良い生徒たちばかりなので、どうにかこうにかコミュニケーションはとれたようで良かったのですが、てっきり会話は英語が中心だと思っていたのでこれはちょっと誤算でした。



市内観光はあらかじめ生徒たちが現地で案内してくれる学生と連絡を取り合いながら巡回ポイントを決めました。下見に行った私たちからは距離や時間を考えるとこの部分には無理があるよ、というようなアドバイスをただけで、内容についてもほとんど現地の学生との話し合いで決め実施しました。

Q マレーシアの印象は？

A 生徒たちは、マレーシアが思っていたよりも都会だったことにびっくりしており宿泊先の近くにあったツインタワーを見ても感嘆の声を上げていました。自然豊かな場所と高層ビルが立ち並ぶ近代的な街が隣り合わせにあり、ギャップがあって面白かったですし、特に昔ながらの雰囲気が残っている様に個性を感じました。今まで何もなかった所に道が出来た、というのが見て感じ取れるような風景があってまさに発展段階にある国（街）という感じがしました。高速道路も常に渋滞しているような状態で、色々なところから人が集まってくる、活発な街

であることがよくわかりましたね。

Q 行く前の準備や事前・事後学習について教えてくださいか？

A 事前学習では、班ごとに担当分野を決め調査したことをパワーポイントでまとめ発表しあいました。行く前の準備に時間がかかりましたので、事後学習にはそれほど時間をかけていませんが、生徒たち一人ひとりのお感想文をまとめて冊子にし残しています。

準備としてはまず数名の教員が視察へ行きました。マレーシアは初めてですし計画の段階ではあいまいなことが多々ありましたが、視察へ行ったことでそれらが明確になりました。特に、どの部分で時間を取ると良いか、というのがよくわかりました。地図上で位置がわかっているにもかかわらず実際に使う交通機関で試さないとなんて時間がかかるのかわかりません。たとえば当初考えていたプランに象を見ようというのがあったのですが、滞在拠点である都会からだとバスで2時間以上かかる場所まで行かなければならないとわかり、予定から外す事にしました。限られた時間で、生徒たちにはより内容の濃い体験をしてもらいたいので、時間配分は大事です。料理も、事前に食べてみたものを実際に用意して頂き、食の心配もほぼなくして良い状態にしていきました。事前に解消できる不安は全て解消しておくとお本番が少し楽ですね。



Q 特に大変だったことや、今後の課題はありますか？

A どこへいくにもつきものなのは安全面の心配でしょうか。デング熱など感染症の流行や、いつ天災がおきるかわかりませんから、実施不可能と判断された場合の代替プランも用意しておかなければなりません。そうした準備の難しさに対する気苦労はありますね。また今回はマレーシア航空を利用するにあたり準備段階で少し戸惑うこともありました。たとえば、私たちとしては座席がクラスごとだと都合が良いのですが、最初はあいうえお順にならべられそうになる等うまくいかず、途中で旅行会社の方が間に入り手配して下さり本当に助かりました。当日は入出国手続きもスムーズに行うことができ良かったです。少しでも不明な事があればすぐに対応していただく事が必要です。

Q 生徒たちの様子、どのような教育効果がありましたか？

A 生徒がどうかんじてくれるかというのは実行して初めてわかる事ですから、そこにたいしてひどく心配をするということはありませんでしたが、結果は生徒たちからの評価も良くうれしく思っています。他国を知ることで時刻を知ることができた事、そしてそれによる詩やの広がり何よりの収穫でした。滞在中も見ると元全てに興味を持ってきているのが印象的です。マレーシアの街ではものすごい数のバイクが走っているのですが、よく見るとバイクに乗る人たちがウインドブレーカーを後ろと前を逆にして着ていまして。ちょうどファスナーが後ろになるように着るわけなのですが、それは泥はねを体に受けないようにウインドブレーカーを着つつも暑いのでファスナーは閉めたくなくて後ろを開けっ放しにしていた、ということだったようなのです。そういう、現地では日常的であるのに自分たちには見慣れていないものに、生徒は常に敏感でしたね、



平成22年度 酒田南高等学校 修学旅行 行程表

日付	内容 / 行程	
1日目 11月14日	21:00	バスターミナル集合
	21:40	バス出発
2日目 11月15日	7:00	朝食
	8:30	搭乗手続き
	10:30	成田空港発 MH89 昼食(機内)
	17:05	クアラルンプール国際空港着 夕食
	21:30	ホテル着
3日目 11月16日	7:30	朝食
	8:00	テーマ別行動 各班出発 ①熱帯雨林体験コース ②動物観察コース ③海洋生物観察コース ④文化と産業体験コース 昼食(班ごと)
	17:00	ホテル着
	19:30	夕食(マレー舞踊ショー) ホテル着、班長会議
4日目 11月17日	7:00	朝食
	8:30	出発 国家記念碑
	10:00	カンボンビジット(歓迎レセプション、記念植樹、家庭訪問)
	16:30	ホテル着
	18:30	夕食(レストラン)
5日目 11月18日	7:00	朝食
	9:00	ホテルにてB&Sの学生と顔合わせ、打ち合わせ
	10:00	班別自主行動(B&S) 昼食(班ごと)
	15:00	B&S終了、ホテルへ
	17:00	お別れパーティ
	19:00	ホテル発
	21:00	クアラルンプール国際空港着
	23:30	クアラルンプール国際空港発 MH88
6日目 11月19日	7:40	成田空港着
	11:00	羽田空港着
	12:10	羽田空港発
	13:10	庄内空港着、解散